

さかど

ロイヤルの園だより

発行

(福)栄光会

さかどロイヤルの園

坂戸市大字森戸 739-1

「風鈴」

四層鴉のくだり

介護職員

猛暑の日々。皆様、体調は大丈夫ですか。

四層では、八月の夏の訪れを感じる行事を行います。それにあたり、少しでも涼しさを感じられればと思い、風鈴を作ることにしました。

風鈴と言っても、透明のプリンカップに鈴を下げて、皆さんには、白い短冊に飾りを貼り付けることをお願いしました。透明感のある折り紙や、キラキラした折り紙を型どりで裏に両面テープを貼りました。また、花柄のマスキングテープを用意しました。飾りは、この二種類です。一人で、黙々と細やかに貼り合わせる方、好きな折り紙をじっくり選んで貼る方、『何でも貼ればいいんですよ。』とおっしゃる方、様々です。貼ることが難しい方は、マスキングテープを選んでいただき、声掛けをしながら、職員が貼りました。

生活のほとんどを介助している方に、短冊の説明をして、『お好きなテープを取ってください。』と声掛けしたところ、いくつもある中、二つだけ握ってくださいました。思ってもいなかったことだったので、とても嬉しく思い、すぐに貼り付けて、『ご本人に見ていただきました。』

全員作り終え、リビングに個性あふれる風鈴が見事に、季節を運んでいます。



「デジタルデトックス」

二層亜麻のくだり

介護職員

最近、本を読んでいますか。私は、この数年で、電車での移動時や舞台観劇時の開演までの時間などに再び本を読むようになりました。エッセイや小説を読むことが多いです。最近では、江戸川乱歩の「人間椅子」や夏目漱石の「夢十夜」を読みました。学生の頃には分からなかった面白さを感じることができています。また、考えさせられることも多いように思います。次に読みたいなど思っているものは、内田百閒の作品です。夏目漱石の門下生の一人で夢の光景のように不可解な恐怖を幻想的に描いた小説や、独自の理論でユーモアに富んだ随筆を多く執筆した、名文家として知られています。どれもこれも応援している役者さんの影響ではありますが、新たな世界を広げてくれる素敵な人です。スマホやタブレットでも手軽に読める時代となりましたが、私はやっぱり紙媒体のものが好きだなと感じます。小説を読んでいる間はデジタルデトックスの時間にもなっており、良い気分転換です。

もう一つの私のデジタルデトックスの時間は、映画鑑賞です。サブスクや配信などでもいろいろな作品を簡単に見ることができるようになった時代ではありますが、映画館の大スクリーンと音響でしか感じられないものがありますよね。最近の私が感銘を受けた作品は「国宝」です。公開から一か月経っても話題性の高い作品で、観た方も多いのではないのでしょうか。私も二回目を観たいなと思っています。同じ作品でも二度目は感じ方が変化したり、一回目では分からなかったところが理解出来たりと面白いです。

スマホがあれば何でも出来る時代となりましたが、たまにはスマホから離れる時間を作ってみてはいかがでしょうか。



「夏の草むしり」

一層瑠璃のくだり

介護職員

我が家の庭にドクダミ草がたくさん生えて、草むしりをしながら抜いています。抜いても抜いても、除草剤を撒いても、すぐに生えてきます。ドクダミは、土の中で根が広がっている、抜くとその振動が根に伝わり、より一層、生えてくるそうです。知り合いの話では、ハサミで茎を切って、それを何度か続けると、そこからは、生えてこなくなるそうです。

実家の庭も、雑草が生い茂り、こまめに手入れをしていた父が亡くなり、母も高齢と夏の猛暑で、草むしりどころではありません。仕方なく、私がやることに……。雑草の生命力の強さに感服し、こんな逞しく生きられたらと色々なことを思いにふける時間となりました。来年の夏も、熱中症に気を付けながら、草むしりに挑みたいと思っています。

「四層亜麻・鴉 夏の訪れを感じる会」



「父の生きた証」

医務室
看護主任

父が膵臓癌の宣告をされてから約一年半。七月に人生を終えました。一切の治療を希望せず、希望通り最期まで自宅で家族に囲まれながら過ごした一年半でした。痛みは全くなく穏やかな生活をしており、亡くなる前日まで自分の言葉で考え伝え、好きなアイスを食べていました。県外にいる私は立ち合うことは叶いませんでしたが、母と、同居している私の弟夫婦と孫たちとその時を迎えることができ、父が望んでいた通りの最期でした。

これまで、お盆やお正月に家族全員がそろう機会がありました。そのたびに父は、家族全員の賑やかな光景をニコツとしながら眺め、いいな。ここにいる全員が俺の生きてきた証だ。俺たち夫婦二人が今や十七人になった。孫も九人できた。こんな幸せなことはない。これが父の口癖でした。父は私にとって非常に厳しい父親でしたが、社会人として幼いころから尊敬していました。人を大切に、自分の持つ力を人の為に役立てるために常に勉強をして努力を惜しまない。そんな人でした。葬儀では父と縁のある多くの方々に見送っていただき、改めて父の人脈の広さと優しさを知りました。父という目標といいますが、大きな壁がなくなり私の目の前の景色はすっかり変わり、張り合いがなくなったような感じですが、自分がどう成長できたのか、これからが本当に試されるのだらうと思います。

「ドラマ」

三層鴉のくだり
介護職員

「秋の夜長に読書」と言いたいところですが、ついついスマホを手にも海外ドラマを観てしまいます。特に中国や韓国の歴史ドラマが好きです。歴史の授業は教科書を開くと眠くなっていたのにドラマだと眠くならないのです。もちろん大陸の歴史は長く複雑でとても全て覚えることはできませんが、皇帝陛下や皇后様のお名前が少しわかるくらいで、あとは役者さんや衣装の美しさ、そして悪役が最後に倒されるあたりを楽しんでいます。

数年前に中国の方が実習生としていらつした時、休憩時間に中国のドラマや女優さんの話をしたり、ほんの少しだけ中国語も教えてもらいました（挨拶程度です）。私が「中国の歴史は難しく」と言う、「大丈夫です。中国人もあまり分かってないですから。」と、やさしい言葉を忘れることができません。ドラマを観ていて教えたもらった言葉が出てくると「あ、あれだ。」と嬉しくなります。あとは「倭国」とか出てくると親近感が持てます。

これから秋の夜長に読書もしたいのですが、やはりドラマ鑑賞にいきなりしなうと思えます。歴史の勉強と称して。

「趣味」

三層浅緑のくだり
介護職員

残暑というには厳しい暑さが続いております。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

今回は私の趣味の一つについてお話しします。皆様はフリマアプリというものを利用したことがありますか。フリマアプリというのは、フリーマーケットのように、個人同士が売買できるスマートフォンアプリのことです。私は、フリマアプリで不要になった物を出品したり、欲しい物を購入したりしています。フリマアプリにはまったきっかけですが、コロナ禍で中々外出が出来ない時に、在宅で何かできることはないかと考えたのがきっかけです。初めは、出品の仕方や上手な写真の撮り方、品物の発送方法などが分からず悪戦苦闘しましたが、慣れると簡単で次第に出品するのが楽しくなりました。また、自分が出品したものを購入した方とメッセージのやり取りなどが出来るのですが、そこでお礼の言葉を言われると、とても嬉しく、良いやり取りができて良かったと感じます。そして、これからも続けていきたいと思っています。フリマアプリに興味のある方はぜひ聞きに来てください。まだまだ暑いですが、頑張っていきたいと思います。

「果物バイキング」

